

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 69 ） 学校名 豊田市立御蔵小学校

1 テーマ

『御蔵の魅力』 再発見～地域にある自然や人を生かして学び、発信しよう～

2 ねらい

地域の自然や人々と関わったり、主体的に地域に働きかけたりすることで、子どもと地域の距離は近くなる。御蔵の風土に見守られながら、子どもたちは多くの知恵や生きる力を受け継ぎ身につけていく。それら貴重な体験を積み重ねることで自分の生き方を考え、主体的に行動する力が育つと考える。この地で地域の自然や人々と関わった体験が、子どもたちの生きる力となるように、計画的・系統的に特色ある活動を仕組む。

3 活動内容

（1）中学年 「みくらの自然を守る～ぼくたち・わたしたちのT・S・K活動～」

T（つかう）活動として学校の畠(自然)を使って、いろいろな野菜を育てた。それぞれの野菜に育て方のこつがあることが分かった。また毎日の水やりや、草取りなど大変さを感じた先に、収穫の喜びも感じることができた。S（しる）活動は、整備員の深見さんに樹木の名前を教えてもらい、学校の周りに48種類もあることが分かった。木の特徴を書いた名札を制作した。K（こわさない）活動では、節電を呼びかけ、学校で取り組んだ結果 11月1か月で1年前より857kwh 減らすことができた。また地域にもチラシを配り、節電を呼びかけた。

（2）高学年 「御蔵の宝を見つけよう」

「米作りのスペシャリストになろう」の活動では、地域のボランティアに作っていただいた田んぼでの米作りをした。ところが、残念ながら今年は全くお米を収穫できなかった。それでも稻刈り、脱穀などの体験は行った。稻は青々としていたので、干して正月飾りを作った。「御蔵の自然を探そう」の活動では、御蔵の土壤によって豊かな自然があるのでないかと考え、土壤生物の調査をした。学校の周りの落ち葉の下の湿った土を観察し、動くものを見つけたら顕微鏡で観察した。10種類の土壤生物を見つけることができた。自然の状況を知るために土壤生物調査をいう方法があることも知ることができた。

4 成果と課題

4月、地域コーディネーターに困っていることはないかと声をかけていただいた。高学年が総合的な学習や社会科で学習する農業で稻作の体験をするための田んぼを借りることができる方がいないか探してもらえるように依頼した。しかし、適当な田んぼがなく、学校の敷地内に作ろうということになった。地域コーディネーターがボランティアを募って、田んぼを作ってくださった。残念ながら収穫はできなかつたが、地域の力を感じた。円山発表会は、学校公開日として保護者を招いて行ったが、地域ボランティアの方や、日頃お世話になっている地域の方を招くとよいという反省があった。こうしたことも地域コーディネーターを活用して呼びかけていく。

御蔵小学校の円山学習は「これ！」ということが決まっていない。その分、担任が児童の興味に沿って展開することができる。「みくらのステキさん」の活用も担任の

進め方に委ねることになる。そこで担任への情報共有を図れるようにする。

保護者アンケートでは「とてもよ・よい」88%、「あまりよくない・よくない」13%、であった。児童が主体的に取り組むような工夫をしたり、通信や学校ＨＰなどでの配信で取組の様子をわかりやすく伝えたりするように努めたい。円山発表会後の感想では、「地域の方の協力あり、できることがあって、今後もやっていけるとよい」とあった。地域や保護者に協力を得られるようにしていく。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・活動を実施したときには、学級だより、学校だよりにおいて紹介した。また、学校ホームページでも各学年の内容が随時更新されるように作成担当者と担任が連携し公開の頻度を増やした。
- ・「円山発表会」（総合的な学習の取組発表）を開催し、保護者に取組の様子を伝えた。保護者が多くの感想を寄せてくださいました。